

# 広の報の新ページ

登別市民憲章

未来を作る青少年の、  
健全な夢の育つまちを  
つくりましょう

●No.216 ●毎月1日・15日発行 編集発行/北海道登別市総務部公聴広報課



## お年寄りに生きがいを…… 『老人農園』オープン

### さっそくダイコンの種まき

お年寄りの健康づくりと生きがい対策を目的に、広大な札内原野の一角に計画していた、市の「老人農園」の開園式が、7月28日行われ、待望のお年寄り向け生きがい事業が、いよいよスタートしました。

開園式は、あいにくのわか雨にぶつかりましたが、市内22の老人クラブから約130人のお年寄り、市の部長以上が参加して行われ、田村市長が「今日の雨は農作物にとっては恵みの雨。健康に気をつけて、種を育て実りの秋を楽しみにして下さい」とあいさつ。

これに対し、老人クラブ連合会長の和田弥平次さんが「りっぱな農園をありがとう、老後の楽しみができました。」とお礼の言葉をのべ、このあと、約2haの農園に繰り出して、秋ダイコンの種まき作業に移り、田村市長もこれに加わって、久しぶりの野外作業を楽しんでいました。

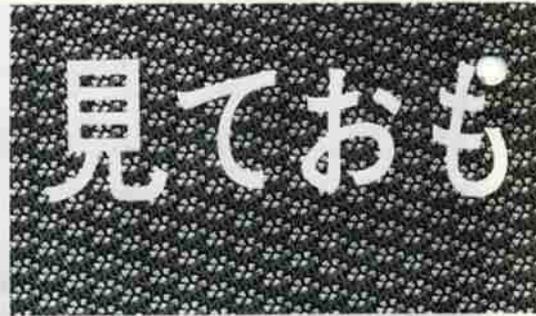
10月末には、8万本近い収穫が見込まれており、給食センター、恵寿園に贈るほかは、消費者協会とタイアップして売りさばくことにしています。

1976  
**8. 15**



# 第2回市民まつり

9月11日～12日



各地で行なわれている、新しい振付けの市民おどり講習会

11  
あなたもいっしょに参加しませんか

市民おどり大群舞

市民まつりの気分を一挙に盛り上げる、市民おどり大群舞が、前夜祭の九月十一日午後六時三十分から八時までの間、町内会、各職場、商店会等市内各地から約七百人が参加して、会場の幌別小学校グラウンドを出発点として、中央町市街を練り歩きます。今年から新たに市民おどりが振付けされましたが、北海道道に合わせた簡単なおどりで、各地で行なわれている講習会でも「おほえやすい」と大好評、あなたも是非市民おどり大群舞にご参加ください。

なお、当日は中央町市街一帯で車両通行止め、駐車禁止等の交通規制が実施されますので、自動車をご利用の方は、十分注意の上ご協力をお願いします。

### 車両通行止め

時間 午後6時～8時  
 区間 幌別小学校～アサヒ堂  
 ～河村酒店～相生橋～  
 フードセンター～幌別  
 駅西口  
 迂回路 富士町方面は図のよ  
 うに迂回してください。

9月11日(土)前夜祭



# マチの汚れは、そこに住む私たちの心の汚れでしようか



あとを絶たない悪質な不法投棄と、担当職員は頭をかかえるばかり、不法投棄をした人たちはみんな、簡単な気持で投げているようですが、その行為はきびしく批判されなくてはなりません。

一部の人達によるゴミの不法投棄が社会問題となりま  
した。  
しかし、各地でたまりかねた住民による、自主的なゴ  
ミ駆除が行なわれています。  
今回は、登別市の「ゴミ問題」に焦点をあて特筆しま  
した。

## 「後を絶たない ゴミの不法投棄」

市内で、ゴミの不法投棄がされ  
ているところは、河川・漁港・原  
野・人目のつかない山道など数十  
か所。  
市では、監視員を置いたり、投  
棄個所近くの住民の協力を得て、  
連絡を取り合うなど対策を立て、  
不法投棄をやめるよう注意してき  
ましたが、不法投棄は後を絶ちま  
せんでした。

## 「違反者は厳しく検挙」

これら後を絶たないゴミの不法  
投棄には、警察の協力を得て「廃  
棄物の処理及び清掃に関する法律」  
を適用、すでに数人を検挙してお  
りますが、これも氷山の一角で、  
根本的な解決方法は「市民みんな  
で監視」見つけたら、警察・市環  
境衛生課に通報すると同時に、私  
達の隣り近所からそのような人が  
出ないように注意し合うこととす。  
自然はみんなの財産であり、憩  
の場です。市民みんなて力を合わ  
せ明るく住みよい登別を築いて

## 「地域住民が立ち上がる」

「自分たちのマチは、自分たち  
の手で」と、各地で自主的にゴミ  
駆除作戦が展開され、特にゴミ捨  
て場といった惨状をさらしていた  
警別漁港一帯も、町内会などの人  
達約六百人が参加、市の清掃車も  
出動して全員汗だくで大奮戦、総  
量約五十トのゴミを撤去しました。  
今まで不評をかっていたところ  
も、見違えるようにきれいさつば  
りとなり、市では協力を頂いたみ  
なさんに深く感謝しております。

## 「市のゴミ対策」

各家庭から出されるゴミは、収  
集日程を定めて、週二回、収集車  
七台（ロータリー車五台・ダンプ  
車二台）により、二十四名の作業  
員が市内全域を収集、粗大ゴミに  
ついては、年に春と秋の二回を実  
施このほか、要請があればいつて  
も出動できる体制を取っております。  
集められたゴミは、幌別中学校  
からかなり奥に入った沢地に運び

埋め立て方式によって処理してい  
ます。  
しかし、現在の埋め立て方式は  
脱臭剤・殺虫剤の散布（一回の経  
費は約三万円、冬期間・雨天以外  
毎日）ブルドーザによる、反転作  
業等を行なっていますが、非衛生  
的であり、年々用地も限界となっ  
てきています。

## 「無公害のゴミ焼却場を建設」

市では、ゴミ問題の根本的対策  
として、現在幸町の衛生センター  
隣地に総工費約十億五千五百万円  
を投入してゴミ焼却場を建設、最  
も技術の進んだ近代的機械の導入  
を決め、上屋の建設を進めており  
ます。

この焼却炉は、一日の排出量六  
十トで、悪臭や騒音を完全にシャ  
ットアウトした無公害の焼却炉で  
昭和五十四年四月より始動する予  
定です。

以上、登別市の「ゴミ問題」の  
現状と今後の対策について述べて  
みました。  
道路に捨てられているゴミも、  
私達の衛生に対するモラルの低さ  
の表れてないでしようか。

「ゴミ問題」については、市だ  
けでは解決できない事ばかりです。  
市民のみならずご協力をお願い  
いたします。

# ゴミの捨てられた川は 見られたものでありません

— 川を美しく —



鷺別川の清掃では、男性軍は特長をはいて真っ黒に汚れた川に入りゴミをかき集め、土手で待ち構える女性軍に手渡し、手際よい作業にかかわらず、ばく大なゴミの量に少々戸惑った様子。

自転車、ベッドのスプリング等までが捨てられていました。

7月18日鷺別連合町内会による鷺別漁港と鷺別川のゴミ駆除作戦に地域の人達約600人が参加、午前9時から夕刻まで大奮戦、総量約50ト（トラック5台分）のゴミを運び出しました。今は、見違えるようにきれいになっております。



今年の春、富士橋商店会青年部が中心となって行われた来馬川の清掃作業、約30人が富士橋の上下流500mの間の川ざらいを実施、自主的な美化運動を実施しました。

集められたゴミは、千歳町のゴミ捨て場に埋め立てています。捨てたあとは、ハエの発生、悪臭やガス発生を防止するため、薬剤散布やブルドーザーによる埋め立てなど、ゴミ処理には多額の費用がかかります。



美しい自然は  
みんなのいこいの場

# 初のレク村開設

## よみがえる旧幌別鉦山校



校庭で輪になり、キャンドルサービスを楽しむ児童

青少年の健全育成の場として、市では七月三十日から八月十二日まで、旧幌別鉦山小中学校の元校舎、運動場を利用して、初めてのレクリエーション村を開設しました。

開設前から、すでに担当の教育委員会には、八百五十人近い利用の問い合わせが相次いで、閉校後さびしくなる一方であった、同校も久しぶりに、子供や若者たちの歓声に包まれました。

現地は、幌別の市街地から山道を十キロ入った、山紫水明の絶好のキャンプ地となっています。戦前よ金、銀、銅、硫黄を産出

収容するほか、校庭にテント二十

張り(百人収容)程度を設営でき合わせて二百人が宿泊できることになっていきます。

キャンプ村での生活は、午後二時から三時までに入村、「夕べの集い」、夕食、キャンプファイアー、自主研修、午後十時消灯、翌日は午前六時起床、「朝の集い」朝食、自主研修、キャンプ村清掃午前十一時退村と原則的にきめられています。

キャンプ村の開設期間中は、いつも静かなこの地区も、小中高生たちの野外夕食、キャンドルサービス、キャンプファイアーを囲んでのフォークダンスなどで、歓声に包まれていました。

# 抽せん券付タバコの

## 第一回売上期限迫る

非常にご好評をいただいた「抽せん券付タバコ」の、第一回の期限が八月三十日と迫ってきました。当選発表は、九月十二日の市民まつり会場(雨天の場合は中央公民館)です。

当日は、回転マト方式により抽せん会を行い、特賞一万円相当家庭用品五本、一等特別温泉一泊旅行、その他家庭用品五百本と盛りだくさんの当選が発表になります。商品の交換は、当日会場で行うほか、本庁税務課・各支所で十月

# まずお年寄りに

## 市民健康手帳が完成

市では、今春から計画していました「市民健康手帳」の、お年寄り向け健康手帳が刷り上がり、まもなく市内在住の六十五歳以上のお年寄り全員に配布することになっています。

市民の豊かな生活づくりの基本は、まず健康から。

そのためには、日頃から自分の健康状態に気をつける習慣が大切との発想から誕生した市民健康手帳制度は、全市民を対象にしていることから、道内でも珍しい試みであると評価されています。

その第一弾の老人向けの健康手帳は、青色のビニール表紙をつけた、横十三号、縦十八号、三十四ページのメモ帳ふうのもの。

内容は「使い方」、「緊急時

衛生課では、各項目とも健康づくりには欠かせない事項を、豊富にしかも、要領よくまとめることに苦勞しました。

来年度以降は、順次年齢を引き下げ、将来は全市民に行きわたらす予定です。



近々お年寄りの人たちに手渡される市民健康手帳

# 大雨、台風災害の予防



危険な場所には日ごろからの注意を気象に気をつけ、被害を最少限に

ご寄贈ありがとうございます  
ごさいます

〈社会福祉協議会へ〉  
愛情銀行  
東条佐市殿・一万円

物品寄贈  
森ノブエ殿・テレビ一台、河村キクエ殿・水筒九個、宮川成旭子殿・衣類四十五点、小川ヨシノ殿・衣類二百二十点、阿部次男殿・衣類他三十五点、佐藤キサ殿・衣類四十五点、匿名一件・衣類二十五点

古切手寄贈  
渡辺吉次殿・百六十三枚、柳鹿野組殿・百八十九枚、柳上田商事殿・千八百枚、磯松建設機殿五百枚、川尻自工殿・百五十枚、持丸虎太郎殿・四百八十枚、岩倉則子殿・五百七十枚、匿名一件・六百十枚

〈恵寿園へ〉  
采町婦人部殿・草餅百二十袋、清水茂殿・中古衣類二十五点、高柳初江殿・中古衣類四十点、福田八郎殿・和生菓子九十個、横岡一殿・中古洋服五件、手塚竹治郎殿・和生菓子二百個、室蘭警察署外勤課殿・惣八カレニ五十尾

〈市内小中学校へ〉  
合田書店殿・現代世界百科大辞典(四冊組)十六セット

# 郷土史探訪 ⑤

## 苦しかった移住者

仙台白石藩の旧家臣らは、前後三回に分れて八百人近くの者が本道に移住した。

移住者は次のとおりである。

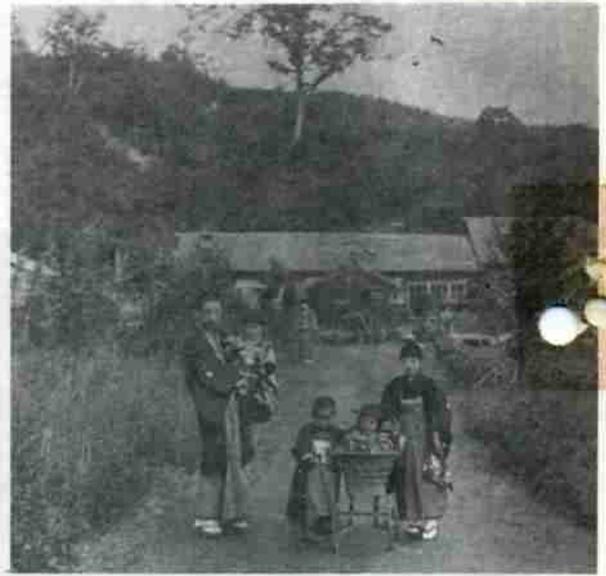
- 第一回移住 (明治三年七月)
  - 第二回移住 (明治四年四月)
  - 第三回移住 (明治四年九月)
- 札幌市白石町・手稲町開拓 六百名

幌別郡の開拓には渡航のためにまた、食糧や器物の調達に、さらに開拓小屋の建設などに莫大な費用を要した。

開拓費の捻出に旧来の居城である「白石城」を売却し、鶴見屋専右衛門から百五十門を得たが、これだけでは幌別郡の開拓に足りるものではなかった。

とりあえず政府の下付金でつくった「御長屋」に移住者を住ませたが、これは三間に六間の共同長屋で、これを二間ずつ三分して三世帯が住んだ。

しかも隣りどうしの境は、スタレでまにあわせたというのだから互いに家庭の内幕が筒抜けで、苦笑にたえぬ場面が続出した。



開拓当時の片倉男爵家  
—現在の片倉町付近—



住居の不自由さはまだしも忍び得るが、地味が悪いうえに海霧(ガス)が深いのは致命傷であった。

ただでさえ農耕に慣れない人々だったので、こんな悪条件のもとに未開地を開拓することは随分苦しかったであろう。

幌別郡の開拓に農民として最後まで生きぬいた白石旧藩士は、ほんの一部であって、大部分は漁場主らに雇われて、わずかにその日の露命をつなぐという哀れな境遇に落ちていった。

しかし、彼らの中でも精神力の強い人々は、幌別川沿いの、旧新日鉄住宅街の辺りから漸次開拓の地歩を築いていった。

もともと、この辺からさらに「川上」方面までの一帯が農耕地化されたのは、彼らの功績でなく、それから十年後の明治十四年から同二十五年にかけて、香川県人三十余戸、淡路国人約六十戸、阿波国人七十余戸が団体移住した結果である。

だから、幌別を中心とする農民の勢力は、四国地方の出身者が多数をしめたのであった。

(市立図書館II郷土資料室)

# 暮らしのチエ

## 買いいもの上手のコツ

ものにもいのちがある。ものには寿命があります。大切にすれば長もちします。使用期間や使用ひん度によって価値も変わります。

毛一〇〇割の毛布が七年もてば購入価格は七千円でも一年当たり千円、レーヨン一〇〇割が三千元で買っても、二年しかもたなければ、一年当たり一千五百円。結局はじめは高いと思っただけが割安になる場合もあります。もちろん二年しか使わない人の場合は話別ですが……

・家財は家の広さにあわせて買うまえに置き場所が十分かどうか考えましょう。土地代も建築代も高いのですから、スペースの価値は貴重です。一般的傾向として家の広さの割に、家財が多すぎるようです。

・季節食品は、しゆんがトク野菜や魚などの生鮮食品は冷凍保存技術が発達して一年中あるようになりました。しかし、出盛り期つまり、しゆんのもの、価格は安いだけでなく、栄養面でもすぐれ、味もよいのでトクです。

・端数のない包装商品を買おう  
メーカーが販売価格をきめて内容量を逆算したり、旧来の風習などによって包装商品には端数内容量のものが多くなっています。たとえば、計量法で認められたガラス製容器の型式数だけでも六三三種類で、なかには六三三、三三三、七二〇などの容器があります。できるだけ端数のない包装商品

今日は、固定資産税・都市計画税の納期です。忘れず自分で窓口へお納めください。

品を買うようにしましょう。グラム当りの単価表示がされてる商品を買おう  
山売り、皿売りは、とかくグラム当りの単価表示がありません。価格が同じでも、グラム当りの単価がちがうものです。この単価目当りの価格を、ユニットプライス(単位価格)と呼び、これを実施すること、又、実施している状況をユニットプライシングと呼びます。これの利点は、まやかし値上げを見破る。単価の重要性を再発見する。過大包装を追究する。消費者の知る権利を守るなどがあります。

・消費者苦情相談等を気軽に利用を  
市観光商工課、および登録消費者協会(電話④993、火、木曜日実施)では、市民の消費生活に関する苦情や相談を受けておられます。このような苦情等は明日への消費生活上のため、調査したり、業者と話し合い、テストが必要な商品については、専門のテスト室へ依頼するなどして、解決しております。

買いい物をしてしまった。しつばいした。と思つたら、おっくうがらず、お気軽にご相談下さい。

# 文化短信

## 三味線無料講習会

- ▽日時 八月二十五日(水) 午後二時~五時
- ▽会場 中央公民館和室
- ▽講師 柗家弥司照
- ※当日は、三味線の用意をしております。

# 食中毒の予防

例年七、八、九月は食中毒が多発しております。夏季に食中毒が多発するのは、高温多湿な季節となり、細菌の増殖に最も適した条件が整うためです。一般家庭では、食中毒対策として次の事項に十分注意してください。

- ①調理前、食事前、用後は、手をよく洗いましょう
- ②台所は、整理整頓し、常に清潔にしておきましょう
- ③まな板、ふきんなどの調理器具は、よく水で洗って乾燥しておきましょう
- ④ハネ、ゴキブリなどの衛生害虫は、定期的に駆除しましょう
- ⑤生鮮食品は、できるだけ早く調理しましょう
- ⑥食べ物、低温(摂氏五度以下)で正しく保管しましょう

吟詠発表会  
八月二十二日(日) 午前十時より  
中央公民館二階ホール  
(文化協会時吟友の会)

